

◎各題材の目標と評価規準の例 第5学年

●調理実習について、感染症などで実施が困難な場合には、年間指導計画の中で指導順序を変更したり、学年間で指導の順序を変更したりすることも考えられます。
 ●その際、内容の「B衣食住の生活」の「(2)調理の基礎」及び「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年間にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できるように計画することが求められます。

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点		
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	これまでの学習を家庭科につなげよう (ガイダンス) (1H) A(1)ア 教:表紙~p.7		1		○家庭科を学ぶ意義や2年間の学習の見通しが分かり、目指す自分の姿をイメージし、目標をもつことで家庭科学習への意欲を高める。	○これまでの学習をふり返り、自分の成長を見つめ、ガイダンスのねらいをつかむ。 ○家庭科の意義や学習内容について話し合う。 ○よりよい家庭生活を実現するための見方・考え方について意見を出し合い4つの視点をイメージする。		・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気付いている。		・家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもとうとしている。
		1 家族の生活再発見 (1H) A(1)ア 教:p.8~9	0.5		○これまでの自分の生活が家族に支えられてきたことに気づく。	○教科書を見て自分の1日の生活と比べる。		・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気付いている。		・家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている
5月	2 クッキングはじめの一步 (8H) B(2)ア(ア),(イ),(ウ),(エ) B(2)イ C(2)ア,イ 教:p.10~19	①なぜ調理をするのだろう 教:p.10・11	1		○調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方が分かる。	○p.10の写真やp.11のイラストから調理実習で気をつけることや、調理をすることでどのようなよいことがあるか考える。 ○調理の流れを知り、調理用具の名称や使い方を確認する。		・調理の目的が分かり、調理に必要な手順や用具について理解している。		
		②ゆでて食べよう 教:p.12~17	4		○野菜のゆで方が分かり、ゆでることができる。 ○じゃがいものゆで方が分かり、ゆでることができる。	○家庭科室のガスコンロを使って湯をわかす。 ○野菜のゆで方を知りゆでる。 ○じゃがいものゆで方を知りゆでる。 ○ゆで方の違いを確かめる。		・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗い方、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。	・おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見だし、課題を設定している。	・ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。
		③工夫しておいしい料理にしよう 教:p.18・19	3		○必要な材料や手順を考えゆで野菜サラダの計画を立てることができる。 ○調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	○ゆで野菜サラダの調理に必要な物や作業の手順を考えて計画表を作成して、調理する。 ○学習をふり返り、学習したことを生活にどのように生かすか考える。		・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。	・おいしく食べるためにゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。	
6月	3 ソーイングはじめの一步 (8H) B(4)ア(イ) B(5)ア(ア),(イ) C(2)ア,イ 教:p.20~27	①なぜぬいのだろう 教:p.20	0.5	0.5	○疑問点や調べたいことをもとに、課題を設定する。	○針と糸で縫うことと、のりでつける違いや扉の写真から気が付いたことを話し合って課題を見つけ、学習の見通しをもつ。	・針と糸でぬいのはのり(ボンド)でつけるのとなりがちがうのか自分なりの考えをまとめる。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製作について問題を見だし課題を設定している。	
		②どのような用具や方法でぬいのだろう 教:p.21~24	4.5		○玉結び、玉どめの役割が分かり、玉結び・玉どめができる。 ○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いそれぞれの縫い方の役割や、ボタンのつけ方が分かり、目的に合った縫い方やボタンつけができる。	○針と糸を使って、玉結び、玉どめ、名前の縫いとりをする。 ○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いをする。 ○ボタンつけをする。				・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
		③手ぬいを生活に生かそう 教:p.25~27	3		○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いで小物を作ることができる。 ○これまでの学習をふり返り、できるようになったことを自覚したり、製作への意欲をさらに高めたりする。	○製作計画を作成して、手縫いで小物を作る。 ○これまでの学習をふり返り、製作したものを使用した感想や作ってみたいものについて話し合う。 ○話し合いをもとに学習したことを生活にどう生かすか考える。		・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。

◎各題材の目標と評価規準の例 第5学年

●調理実習について、感染症などで実施が困難な場合には、年間指導計画の中で指導順序を変更したり、学年間で指導の順序を変更したりすることも考えられます。
 ●その際、内容の「B衣食住の生活」の「(2)調理の基礎」及び「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年間にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できるように計画することが求められます。

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点		
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7月	4 整理・整とんで快適に (4H) B(6)ア(イ), イ C(2)ア 教:p.28~33	①なぜ整理・整とんをするのだろうか 教:p.28・29	1	1	○整理・整とんの仕方について問題を見いだして課題を設定する。	○なぜ整理・整とんが必要なのか考え、話し合う ○学校内の整理・整とんの様子を調べる。	・学校での自分の机の引き出しなどの整理・整とんの仕方を基に、家庭等での実践に向けた計画を考える。		・整理・整とんの仕方について問題を見いだして課題を設定している。	・整理・整とんの仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・整理・整とんの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・整理・整とんの仕方について工夫し、実践しようとしている。
		②どのような整理・整とんができるだろうか 教:p.30・31	2		○整理・整とんの仕方を理解しているとともに、適切に行う。 ○整理・整とんの仕方について実践に向けた計画を考え工夫する。	○自分の机の引き出しなどの整理・整とんをする。 ○整理・整とんの仕方について実践に向けた計画を考える。 ○各自がたてた計画について、グループで話し合う。				
		③物の使い方を工夫しよう 教:p.32・33	1	○環境に配慮した物の使い方について理解する。 ○整理・整とんの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとする。	○道具箱の整理で出た不用品を見て、なぜ同じ物や不用品が増えるのか考え、意見を出し合う。 ○不用品を増やさないためにはどうすればよいかグループで話し合う。 ○生活の中で不用になった物をごみにしないためにはどうしたらよいかグループで話し合う。 ○物を生かして使う工夫として、3Rや5Rの考え方を確認して、自分の生活への生かし方を考える。	・環境に配慮した物の使い方について理解している。				
7月	5 できるよ、家庭の仕事 (2H) A(2)ア C(2)ア 教:p.34~36	①自分にできる仕事を見つけよう 教:p.35	0.5	0.5	○学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を見つける。	○これまで家庭科でどのようなことを学んだか、学習ノートなどから振り返り、できるようになったことなどを発表する。	・自分にできる家庭の仕事を考え、実行するための計画を立てる。	・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。	・家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事について、実践に向けた計画を考え、工夫している。	
		②工夫して仕事をしよう 教:p.35	0.5		○見つけた仕事に取り組む計画を立て、実行することができる。	○学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を考え、グループでアイデアを出し合い、計画を立てて仕事を実行する。				・家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭の仕事について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
		③実行し、続けよう 教:p.36	1		○自分の仕事として、家族と協力して続けることができる。	○「わたしの仕事 振り返りカード」を発表し合う。 ○友だちの発表を聞いて、自分の生活に生かしたいことを話し合い、ノートにまとめる。 ○自分の仕事としてどう続けるか考える。				・家庭の仕事について、実践を評価したり、改善したりしている。
9月	6 ミシンでソーイング (11H) B(5)ア(ア), (イ) 教:p.38~47	①なぜミシンでぬうのだろうか 教:p.38	0.5	0.5	○身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心を持ち、ミシン縫いの特徴が分かる。	○身の回りからミシンで作られているものやミシンについて知っていることを話し合う。 ○ミシン縫いの特徴について観察し話し合う。 ○ミシン縫いの特徴を確認し、ミシンを使って作品を製作する学習の見通しをもつ。	・教科書p.20とp.30のイラスト見て、手ぬいのぬい目とミシンのぬい目について気がついたことをまとめる。		・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作(ミシン縫い)について問題を見いだして課題を設定している。	
		②ミシンの使い方を知らう 教:p.39~41	4.5		○ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。	○ミシンの安全な使い方を知る。 ○ミシン縫いの準備をする。 ○から縫いをする。				・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。
		③ミシンを使って作ってみよう 教:p.42~47	6		○ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。	○布を用いて生活に役立つものを製作するために必要な用具や製作の手順を考えて計画表を作成する。 ○ミシンを安全に操作して、製作する。 ○製作学習で学んだことをどのように生活に生かしていけるか考える。				・製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。
10月	7 食べて元気に (11H) B(1)ア, (2)ア(ア), (イ), (ウ), (オ), (3)ア(ア), (イ) 教:p.48	0.5	0.5	○なぜ食べるのか食事の役割が分かる。	○教科書p.48の写真を見て気づいたことや、朝・昼・夜に食事をするのはなぜか話し合い、なぜ食べる必要があるのか話し合う。	・毎日の食事でどのような物を食べているか振り返り、なぜ物を食べているのか、自分の考えをまとめる。	・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さについて理解している。			

◎各題材の目標と評価規準の例 第5学年

●調理実習について、感染症などで実施が困難な場合には、年間指導計画の中で指導順序を変更したり、学年間で指導の順序を変更したりすることも考えられます。
 ●その際、内容の「B衣食住の生活」の「(2)調理の基礎」及び「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年間にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できるよう計画することが求められます。

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点		
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11月	教:p.48~56	②ご飯とみそしるは食事の基本 教:p.49~55	9.5	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ご飯の調理の仕方が分かり、ご飯をたくことができる。 ○みそしるの調理の仕方が分かり、みそしるを作ることができる。 ○食品の栄養的な特徴に関心を持ち、五大栄養素の種類と体内でのその働きが分かる。 ○食品に含まれている主な栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分ける分け方が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ご飯とみそしるの調理を行うことを知り、米とみそについて調べる。 ○ご飯とみそしるの調理をする。 ○実習したご飯とみそしるの材料の食品を五大栄養素に分けてその働きや栄養素の働きによって3つのグループに分けてみる。 	[感染症対策のために実習が困難な場合]学校の授業以外の場においてご飯とみそ汁の調理を実行し、計量、火加減、切り方、手順、後かたづけなどについてふり返り、実践記録表にまとめる。 ・たく前の米とたたいた後のご飯を比べて、気がついたことをまとめる。 ・自分の家で使っているみそやだしについて調べる。 ・家族の好きなみそしるの実について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・米飯及びみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることを理解している。 ・我が国の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとしている。
		③日常の食事に生かそう 教:p.56	1		<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯とみそしるの調理を生かそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○栄養のバランスを考えたみそしるの味の組み合わせの工夫を考えて発表する。 ○みそしるを作る計画を立てて、健康に過ごせるような栄養バランスを考えた実践の計画表を作成して実践する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現している。 		
1月	8 生活を支えるお金と物 (6H) C(1)ア(ア)、(イ)、イ 教:p.58~63	①何にお金を使っているのだろう教:p.58・59	1	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ○物や金銭の大切さについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○p.58・59の扉のイラストやp.120・121のイラストを見ながら、家族が生活するために、何にお金を使っているか話し合う。 ○家族の生活を支えるお金が、多くの場合家族の労働により得られていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書p.58・59の扉のイラストや、p.120・121のイラストを見ながら、家族が生活するために、何にお金を使っているかまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物や金銭の大切さについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物や金銭の使い方と買い物について問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物や金銭の使い方と買い物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ・物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。
		②よりよい買い物の仕方を考えよう 教:p.60・61	2		<ul style="list-style-type: none"> ○消費者の役割について理解する。 ○物や金銭の計画的な使い方について理解する。 ○買い物の仕組みについて理解する。 ○現金以外のいろいろな買い物の仕方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○買物での失敗経験について話し合い、失敗しないためにどうしたらよいか考える。 ○p.60のフローチャートを使って、商品を買う前に考えることを話し合う。 ○売買契約が成り立つのはどんなときか知る。 ○現金以外の支払いに使えるカードや通信販売などのいろいろな買い物の仕方があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 			
		③買い物の仕方を工夫しよう 教:p.62・63	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な物の選び方について理解する。 ○身近な物の買い方について理解する。 ○購入するために必要な情報の収集・整理を理解しているとともに適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物の手順を確認し、買い物をするときには、どのようなことに気をつけるか話し合う。 ○商品に関する情報を集める手段を考える。 ○商品を選ぶときの観点を考えたり、商品の表示やマーク等が選ぶときに役立つことを知る。 ○工夫して買い物をするための計画を立てる。 ○計画をふり返り、これからの生活での生かし方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をかうかを決めて、買い物をするときには気をつけることや、情報の集め方など工夫して買い物をするための計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の選び方、買い方について理解している。 ・購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の選び方・買い方について考え、工夫している。 ・身近な物の選び方・買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・身近な物の選び方・買い方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 	

◎各題材の目標と評価規準の例 第5学年

●調理実習について、感染症などで実施が困難な場合には、年間指導計画の中で指導順序を変更したり、学年間で指導の順序を変更したりすることも考えられます。
 ●その際、内容の「B衣食住の生活」の「(2)調理の基礎」及び「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」については、学習の効果を高めるため、2学年間にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できるよう計画することが求められます。

月	題材	小題材	時間	授業以外の場での学習	目標	主な学習活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動	評価の観点		
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2月	9 暖かく快適に過ごす着方 (3H) B(4) C(2) 教:p.64~67	①どのような着方が暖かいだろう 教:p.65	0.5	0.5	○衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づく。	○教科書p.64のイラストから気づいたことを話し合い、なぜそのような服を着ているか考える。 ○教科書p.65写真から暖かい着方に気づき、衣服の主な働きや暖かい着方の特徴を話し合っ、自分の課題を設定する。	教科書p.65寒い季節と暑い季節の写真を参考に、暖かい着方の特徴をまとめる。		・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定している。	・衣服の着用についての課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の着用について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・衣服の着用について工夫し、実践しようとしている。
		②衣服の働きを知ろう 教:p.66	1.5		○衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解する。	○教科書p.65実験を行って、熱を逃がさない重ね着の保温性について確認する。 ○教科書p.66衣服の保健衛生上及び生活活動上の働きについて考える。 ○暖かく快適な着方と衣服の主な働きについてまとめる。		・衣服の主な働きが分かり、季節に応じた日常着の快適な着方について理解している。		
		③衣服の着方を工夫しよう 教:p.67	1	0.5	○日常着の快適な着方を工夫する。	○教科書p.67野外活動に合う着方を考える。 ○活動に合う着方を発表する。 ○題材の第1時で設定した自分の課題を実際の生活でどう生かしていくか考える。	教科書p.67野外活動に合う着方を考える。		・日常着の快適な着方について考え、工夫している。	
2月	10 暖かく快適に過ごす住まい方 (3H) B(6)ア(ア), イ C(2)ア, イ 教:p.68~71	①寒い日はどのように過ごしているだろう 教:p.68	0.5		○住まいの主な働きが分かる。	○寒い日の生活で困っていることや不便なことをふり返る。 ○イラストや写真を参考に、寒い日を快適に過ごすための工夫を話し合い、発表する。 ○寒い日の過ごし方の工夫について、気づいたことをまとめる。		・住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見いだして課題を設定している。	・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・快適な住まい方について工夫し、実践しようとしている。
		②暖かく快適な住まい方 教:p.69・70	1.5	0.5	○寒い季節の快適な住まい方が分かる。 ○暖かい住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための方法を考えることができる。	○教科書p.68・69のイラストから冬の暮らして気づいたことを話し合い、寒い日に「快適に過ごすための工夫」を話し合う。 ○学校の住環境を調べ、分かったことを発表する。 ○暖かく住むための工夫を実践する。 ○今後の学校生活や家庭生活で改善してみたいこと考える。	教科書p.68・69のイラストとp.94・95のイラストを比べて、冬の暮らして気づいたことをまとめる。	・季節の変化に合わせた住まい方について理解している。		
		③快適さアップを工夫しよう 教:p.71	1	0.5	○自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。	○家庭で調べてきた住まいの工夫を発表する。 ○自分の住まい方に合った快適さアップの方法を考える。 ○家庭でどのように実践していくかをまとめる。	・環境を守ることも考えた、自分の住まい方に合った方法を考えまとめる。		・季節の変化に合わせた住まい方について考え、工夫している。	
3月	11 いっしょにほっとタイム (2H) A(1)ア, (3)ア(ア) 教:p.72~74	①ほっとするのは、どのようなときだろう 教:p.73	0.5		○家族や周囲の人との触れ合いや団らんに関心をもち、よりよい関わりについて考え、その大切さが分かる。	○教科書p.72の写真4枚を見て、気づいたことを発表する。 ○ほっとするのはどんなときか、学校や家庭での経験を発表する。		・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。		・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。
		②周囲の人との関わりを考えよう 教:p.73	0.5			○周囲の人とのつながりを深めるにはどうしたらよいか話し合う。 ○班のメンバーや家族などを想定してほっとタイムの計画表を作成する。			・家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定している。	
		③団らんでつながりを深めよう 教:p.74	1		○家族や周囲の人々と楽しく過ごすことについて考えたり、自分の生活の中で生かすことを考えたり工夫したりする。	○家族や学校の人などの集まりで楽しく過ごすためにどのような工夫ができるか考える。 ○会話の工夫やかんたんな食べ物等を用意して実行してふり返る。 ○学習したことをどのように学校や家庭で生かせるか考える。			・家族とのよりよい関わりについて実践に向けた計画を考え、工夫している。	